

研究課題名	術後再建腸管の肝内結石に対する治療成績
研究責任者名	広島大学病院 消化器内科 教授 岡 志郎
研究期間	許可日 ～ 2025年3月31日
対象者	2010年1月から2023年12月の間に、広島大学病院にて経皮経肝的アプローチあるいはバルーン内視鏡を用いた経口的アプローチで加療を行った胆道再建術後の肝内結石の患者さん。
意義・目的	肝内結石の病態は複雑で難治性であり、過半数を占める胆道系手術の既往のある患者さんでは再発率が高く、胆管炎や肝膿瘍を高頻度に合併するといった特徴を有します。胆道再建後の肝内結石に対するアプローチ法には経皮経肝的アプローチと内視鏡による経口的アプローチがあります。今回、胆道再建術後に発症した肝内結石に対するアプローチ法別の治療成績を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は性別、年齢、血液検査所見、画像検査所見（CT、MRI）、アプローチ法別の治療成績や合併症、治療後の再発率などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） 利用開始予定日：実施許可日（2023年6月19日）以降
共同研究機関	ありません（本学単独研究のため他機関への情報の提供は行いません）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 消化器内科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。なお、本研究で得られたデータは将来計画・実施される研究にとって貴重なデータとなる可能性があり、期限を設けず保管させていただきます。将来別の研究で使用する場合は、改めて倫理審査を受けた上で使用します。 将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいているHP（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） <a href="https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx">https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx</a> にて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5192 広島大学病院 消化器・代謝内科 クリニカルスタッフ 中村 一樹